

会長に就任して

岩倉市国際交流協会 会長 内藤洋子

この4月、岩倉市国際交流協会の会長に就任しました。

一昨年、当会主催の「外国人スピーチコンテスト」の審査員を頼まれました。出場者は市街からも。

どんな話が聞けるか楽しみに出かけると、「日本に来てよかった！日本は暮らしやすい！」とハッピーな話題もありましたが、差別や偏見を切々と訴える人も。現実の厳しさを知り、同時に外国人の皆さんが岩倉市国際交流協会に親しみを感じ、頼りにしていらっしやることが解りました。

その翌年には記念講演に呼んでいただきました。市長さんも出席され、協会を支える会員の皆さんと、講演の後のティーパーティーで親しく交流することが出来ました。そんな経緯から微力ながら会長の大役をお受けしたのですが、この機会に岩倉市国際交流協会の歩みを振り返ってみます。発足は平成4年4月。「国籍人種を問わず共に生きていくこと」を目指し、民間の協会としてスタートしました。草の根的な活動を続け、平成21年度は、5月は外国人研修生・留学生・地域在住者を対象とした「こいのぼりづくり」。8月は中学生の海外派遣（市からの受託事業）、11月の「市民ふれ愛まつり」では世界のお菓子と飲み物を販売し、2月は「くすのきの家」でお雛様づくりなどを通しての交流の開催、年3回の「世界のお惣菜」と銘打った料理教室などを開きました。外国人のための日本語教室「日本語ひろばいわくら」や無料健康相談も好評です。

現在岩倉市には2,800人の外国の方が住んでいます（人口の約6%）。国際交流は今後ますます盛んになるでしょう。来年、協会は皆様のご支援のおかげで20周年を迎えます。楽しいイベントを計画中です。今後ともご理解ご協力お願い申し上げます。



《平成22年度協会役員》

会 長	内藤 洋子				
理 事 長	内藤 和子				
副理事長	堀尾 吉晴	鳥井 照美			
書 記	竹安 誠				
会 計	出野 純代				
監 事	桜井 和義	三浦 光俊			
顧 問	石黒 靖明				
理 事	青木 崇佳	井上 あさを	岩田 智文	岡部 節美	
	神山 秀行	小林 利実子	桜井 広子	中森 大輔	
	早坂 文代	古田 幸	堀尾 明弘	山田 日出雄	



🌸🌸🌸🌸🌸 日常的な交流を目指して 🌸🌸🌸🌸🌸



もおできたの!?早いねえ～!

「こいのぼり作りのホームステイがやってきた。今年のゲストは日本人の父とイギリス人の母を持つ、Nさんだった。二週間後に、また、彼女に連絡を取り、回転ずし屋にいっしょに行って楽しんだ。」「ホストのAさんはホームステイに来てくれた留学生と私たちホストを彼女の家に招待してくれ、パーティを開いてくれた。」あちらこちらから浴衣を用意して、彼らに着せてあげたり、お抹茶を立てたりした。このように、ホームステイの一回の出会いを通じて、その後お互いに連絡を取り合って、交流している。

このような交流が、こいのぼり作りだけでなく、日常的に実現するホームビジット(日帰り訪問)を楽しんでもらえるような取り組みを進めようと考えています。幸い名古屋芸術大学のご理解、ご協力がいただけますので、名芸大への留学生が気軽に訪問できるようなファミリーを求めています。協会員の皆さんのご協力をお願いします。(ホームステイ担当)

🌸🌸🌸🌸🌸 世界のお惣菜 🌸🌸🌸🌸🌸

7月11日(日)小牧市在住のアンヘリカ・マリアさんを迎えて「ペルー料理」に挑戦。

講師の彼女は15人家族の末っ子、そのお姉さん達にもお手伝いしていただきました。ペルーでは誕生日祝いの時の食事だそうです。

- A) アロス・コン・ポジョ(鶏肉ごはん)
- B) クレマ・デ・ロコト(じゃがいもチーズかけ)
- C) チチャ・モラーダ(紫コーンジュース)
- D) マサモラ・モラーダ(紫コーンデザート)

鶏肉ごはんは、コリアンダーとほうれん草をミキサーにかけてスープをつくり、お米の中に入れて一緒に炊きます。グリーン色のご飯に赤いパプリカ・鶏肉・黄色のコーンをのせた楽しいごはんができました。味もとってもおいしく食べやすいです。食後は講師がペルーのダンスを披露し、参加者も一緒に踊ったりと楽しい交流ができました。



マレーシア交流へ行ってきました!!



▲エステラ先生から一生懸命英語を教わりました。

岩倉市中学生海外派遣事業で8月20日からマレーシアへ出発する中学生14人が7月4日、市役所で出発前では最後となる研修を行いました。出発前の意気込みを団長の隅田さんが語ってくれました。

〈団長 隅田悠花さんより〉

私は8月20日から9日間、岩倉市中学生海外派遣団の一員として、マレーシアへ行きます。現地ではSMKメンタカブ校を訪問します。私は自分と年齢の近い生徒達が、どのような学校生活を送っているのか、とても興味があります。バディーと呼ばれるホスト役

みんな岩倉が好きになっています。

名古屋芸術大学 西キャンパス『学生支援課』（国際交流センター）川島憲雄

名古屋芸術大学には毎年、韓国、フランス、イタリア、イギリスなどさまざまな国から何人かの留学生がやって来ます。彼らに素敵な体験と共に岩倉市民のお招きで host family 様との出会いがあることを大変嬉しく思います。

協会の年間行事としてのイベント『鯉のぼり』制作に加え、有志の皆さんとの出会いこそが草の根交流を吹き飛ばし、本来の交流に繋がるかと考えます。素晴らしいホストファミリーの皆様との出会いにて充実した時間が得られました。毎年400年も続く伝統を重んじる『中島屋のんぼり幟店様ご家族様』の厚いあついお持て成しを戴き、益々『岩倉が好き』になります。昼食休憩時には

眼下で悠然と泳ぐ沢山の鯉を眺め、愛でながらも十分に優しい自然との対話が出来ました。

man-to-man のご指導のもとでのびのびと制作をし、鯉のぼりに何とタペストリー制作まで意欲的に手掛けた学生もいました。楽しむことであるのならば、どんな出会いでも最高に嬉しい楽しいことに繋がっていくものと考えます。音楽（例えば太鼓を叩く事）やお祭りには神輿を担いだりと参加者が見聞しながらもその出会いを起点に植樹や庭園づくりのお手伝いや川の清掃、市内のゴミ拾いとか人が寄り共に汗をかき『対話』を通しての和づくりは出会いのチャンスかと考えます。市内の美化運動にも是非ともそこに和を持って参加させていただけるのであれば尽きない交流は可能なのでは。詩吟や盆踊りの練習、墨を擦り書作法は精神統一、茶華道の日本の奥ゆかしさ『侘び・寂び』、日本の美意識小宇宙をも何らかの形で優しく紹介をいただければ幸いに思います。



待つ（糊おとし）



やったー！（完成）

の生徒と一緒に授業を受けたり、食事をしたり、おしゃべりをするのが今からとても楽しみです。また、テメロー村では6日間、ホームステイを体験します。私を受け入れてくださる家族の皆さんと、早くうちとけられるように、まず笑顔で「アパカバー（こんにちは）」と元気に挨拶したいです。マレーシアでは宗教的な習慣や、食生活などの文化の違いに驚く事が沢山あると思います。でも、その違いを楽しんで、初めての事でも積極的にチャレンジしてみたいと思います。そしてこの派遣で出会った友達や家族の方々と日本に帰ってからもずっと、交流を続けることができたら、嬉しいと思っています。



▲マレーシアへ出発する派遣団の皆さん

ピナトゥボ OB 会からお願い

フィリピン・ピナトゥボ地域との交流は1992年に始まり15回、延べ200余名の会員が現地でホームステイをして交流を深め、今では毎年大学生を派遣し、地元の学校を中心に日本の文化を紹介するなど国を超えた相互理解に貢献しています。

そのフィリピン・フロリダブランカでの受け入れ責任者であるボトンこと Dr.Cuyugan(フロリダブランカの保健所長) から一通のメールが届きました。

「1999年に WHO (世界保健機構) から寄贈された Doppler (妊婦の胎児の心音を聞く器材) が古くなって使えなくなり、胎児のみならず母体の安全も保障できない状態が続いています。岩倉の皆さんがもしもこのことに興味を持って、助けてくれたらとても嬉しいです。」

1台 30,000 ペソ (約 63,000 円) とのこと。

「困った時はお互い様」の気持ちでこの交流は続いています。阪神淡路大震災の際は「役立ててください」と、保健所の無料診療日に来た患者たちの浄財をまとめて1枚の1,000円札が送られてきました。あの時の感動は忘れられません。このボトンの呼びかけに応えたいと思います。

ピナトゥボ地域交流に参加した OB 会メンバーを中心に、協会の皆さんが少しずつご協力いただければ、フィリピンの友だちが安心して出産できるのです。

寄付金は 8 月いっぱい受け付けます。お問い合わせは協会事務局 (TEL 0587-66-7347) または古田 (TEL090-8188-8706) まで。

ふれ愛まつり スタッフ募集

毎年11月に岩倉市総合体育文化センターでふれ愛まつりが開催されます。そこで、国際交流協会でも世界の物品を販売しています。今年は11月6日(土)・7日(日)に開催されます。ふれ愛まつりを一緒に盛り上げていただける方は事務局までご連絡ください。

会員継続手続き及び新規会員募集のご案内

事業は会員の会費と岩倉市国際交流事業補助金で運営されています。会員継続手続きをされていない方は、下記へお振込みをお願いします。また新規会員も受け付けています。新規会員の申し込みは下記申込先、問合先にご連絡をお願いします。

会費振込先 いちい信用金庫愛北営業部 普通預金 1016300

口座名義人 岩倉市国際交流協会 内藤和子

会 費 家族会員3口(3千円)以上

問 合 先 内藤 (0587-66-7347) 出野 (0587-37-2495)

堀尾 (090-3421-4088) 竹安 (090-1230-2444)

会報 COM第66号 (2010年8月1日) 事務局 〒482-0021 岩倉市新柳町3-21-2 (内藤方)
発行 岩倉市国際交流協会 TEL・FAX 0587-66-7347
印刷 大橋印刷所 http://www.iies.info/